

グッド・ウィル・ハンティング / 旅立ち (Good Will Hunting)

観賞日 2021 年 1 月 11 日

【概要】

制作 1997 年 上映時間 127 分
脚本 マット・デイモン、ベン・アフレック
監督 ガス・ヴァン・サント
音楽 ダニー・エルフマン
出演 マット・デイモン (ウィル・ハンティング)
ロビン・ウィリアムズ (ショーン・マグワイア)
ベン・アフレック (チャッキー・サリヴァン)
ミニー・ドライヴァー (スカイラー)
ステラン・スカルスガルド (ジェラルド・ランボー)



【あらすじ】

アメリカ、ボストンのマサチューセッツ工科大学。この世界最高水準の大学の数学科教授でフィールズ賞受賞者のランボーは大学院生に宿題を与える。その宿題が解けた先輩はノーベル賞受賞者、高名な物理学者と私の 3 人だけという超難問であった。ところが、それをいとも簡単に解いて見せた者が現れた。しかもそれは学生ではなく、20 歳の清掃夫の青年ウィル・ハンティングであった。ある日、ウィルは仲間たちと近くのハーバード大学に行き、食堂で女子学生のスカイラーと出会い二人の付き合いが始まる。ウィルは天才的頭脳の持ち主であるが、悲惨な幼児体験から心を閉ざしている青年であった。ランボーはウィルの才能を惜しみ、旧友で心理学者のショーンにウィルの心を開かせるように頼む。毎週木曜日の 16 時からの 1 時間。ショーンとウィルの真剣勝負が始まる。最初、凍てついていたウィルの心も徐々にではあるが開き始める。「君は悪くない」と繰り返し語るショーンに泣きじゃくりながら抱きつくウィル。この時、初めてウィルの心が開かれた。

忘れたい過去と有り余る天分。過去との決別と再生の物語。ウィル・ハンティング 21 歳の旅立ち。

【解説】

■ポイント

●マット・デイモン、ベン・アフレックの出世作

脚本はデイモンがハーバード大学在学中にアフレックと共同執筆したもの。

俳優としても脚本家としても二人にとって出世作となった。

二人は親友の関係にあるが遠くさかのぼると縁戚にもあたる。

●受賞 (1998 年第 70 回アカデミー賞)

9 部門にノミネートされ 2 部門で受賞。

受賞：脚本賞、助演男優賞 (ロビン・ウィリアムズ)

この年は「シンドラーのリスト」が 7 部門で受賞

■見どころ

●名セリフの数々

・ウィルが心を開く瞬間：本作のハイライト・シーン

・ショーンとランボーとの会話：ウィルとショーンの会話がメインになるが、ショーンとランボーの会話にも味がある。

●旅立ちをしたのはウィルだけか？